

施工説明書 (保管用)

施工会社様へ

- この説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。
- 有資格者以外の方の電気工事は、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 施工完了後この説明書を取扱者様へお渡しください。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

警告

必ず守る

- 施工・点検時は必ず主電源を切る
電源が入ったままの施工は感電の原因になります。
- 配線は正しく行う
誤配線は感電・発火の原因になります。

禁止

- 分解や改造をしない
感電や火災の原因になります。

注意

必ず守る

- 配線は相・線式・電圧・容量を確認の上、施工する
守らないと発熱・発火の原因になります。
- 配線は適合した電線・圧着端子および圧着工具を使用する
守らないと発熱・発火の原因になります。
- 導電部の接続ねじは適正締付トルクで確実に締付ける
ねじのゆるみは発熱・発火の原因になります。
- 作業は電源や信号をOFF状態にして行う
ONのままでは外部信号や連動回路により突然動作することがあります。
- 電源側プラグイン端子はバーへ確実に差込む
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。
- 負荷側速結端子に接続する場合、オレンジ色の接続完了表示が出るまで、電線を奥まで確実に差込む
差込みが不十分な場合、発熱・発火の原因になります。
- 負荷側速結端子への接続電線は、変形・腐食のないものを使用する
守らないと、発熱・発火の原因になります。

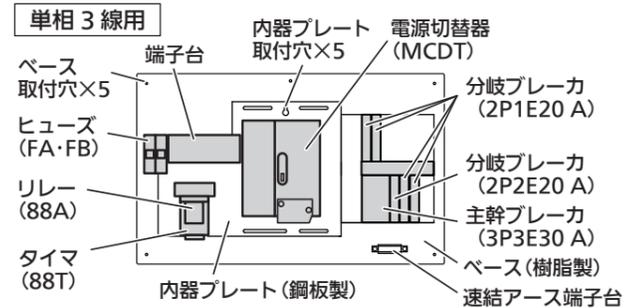
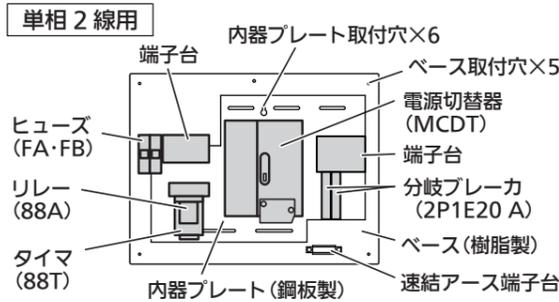
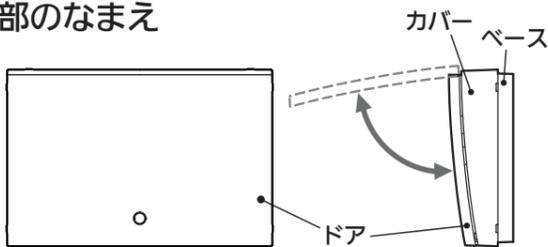
禁止

- 主幹ブレーカでは、端子からの分岐配線はしない
接続不良による発熱・発火の原因になります。

仕様

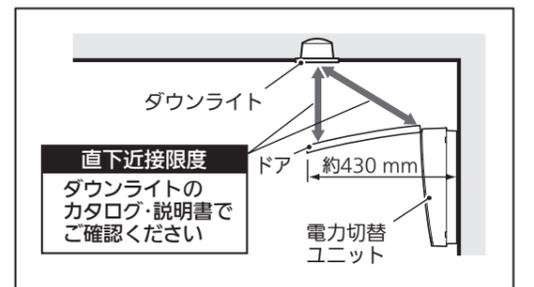
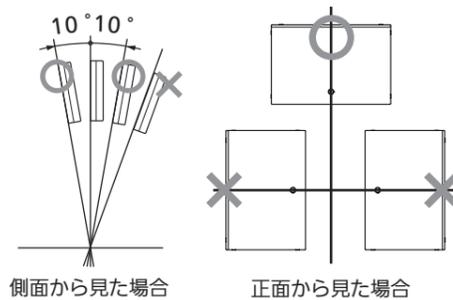
品番	LJP62322	LJP63353
定格	単相2線式(1φ2W) AC100V 30A	単相3線式(1φ3W) AC100/200V 30A
消費電力	約 1.3 VA	

各部のなまえ



設置に関するご注意

- 電力切替ユニットは、容易に操作・点検のできる場所へ取付けてください。戸棚・便所・浴室などの内部には取付けないでください。
- 高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃などにさらされる場所での使用は避けてください。機能を損ないます。
- 屋内で使用してください。屋外や水のかかる場所、塩害のおそれのある場所では使用できません。
- 電力切替ユニットを取付ける壁面は平らな面を選んでしっかり固定してください。取付ける壁に強度がない場合は壁に適切な補強材を設け、取付けてください。また、凸凹のある場所には無理に取付けないでください。
- 電力切替ユニットは右図に示す範囲内で使用してください。
- 電力切替ユニットの前面には、障害になるようなものを置かないでください。
- 照明器具(ダウンライト)の近くに電力切替ユニットを設置する場合は、ダウンライトの直下近傍限度以上離してください。(右図参照)
- 周囲温度が最高40度、最低-5度の範囲内(ただし、24時間の平均値は35度を超えない)の場所に設置してください。



施工に関するご注意

- この電力切替ユニットは、単相2線式AC100Vまたは単相3線式AC100/200V専用です。
- 住宅分電盤には電力切替ユニットへ配線するための分岐ブレーカが必要です。
- 電力切替ユニットは、取付ける壁面クロスが完全に乾燥してから取付けてください。
※ 糊の成分によって将来的にブレーカの品質を損なう可能性があります。
- 盤定格電流を超える主幹ブレーカは取付けないでください。
- 導電部の接続ねじは適正締付トルクで確実に締付けてください。(右表参照)
- 電線サイズ・動作確認方法はパワーステーションの施工説明書を参照ください。
- 電線サイズは最大負荷電流に適合したものを使用してください。
- 分岐ブレーカに接続する電線サイズは右表より選んでください。
- ブレーカの定格電流に応じて、この説明書に記載の電線サイズおよび適合圧着端子を使用してください。
- 電力切替ユニットの内部に電線の切りくずなどが無いことを確認してください。
- 配線作業後、配線孔の空間はパテなどで埋めてください。小動物が侵入するおそれがあります。

導電部の接続ねじ適正締付トルク

ねじの呼び径	締付トルク(N・m)
M5	2.0~2.5

分岐ブレーカ適合電線サイズ

ブレーカの定格電流	電線サイズ
15A・20A	φ 1.6 φ 2.0
30A	φ 2.6

電力切替ユニット取付け上のご注意

- 本体の取付けは、カバー両側に手を掛けてスライダーを操作し、取外せる間隔を開けてください。(右図【カバーの着脱方法】参照)
- 本体を壁に固定する場合、内器プレート(鋼板製)の取付穴とベース(樹脂製)の取付穴で確実にねじ止めしてください。(裏面参照)
- 壁の材質などにより、他のねじをご使用になる場合のねじ径はφ4としてください。あらかじめ設けられている穴以外のねじ止めは、ベース変形の原因になりますので行わないでください。

【カバーの着脱方法】

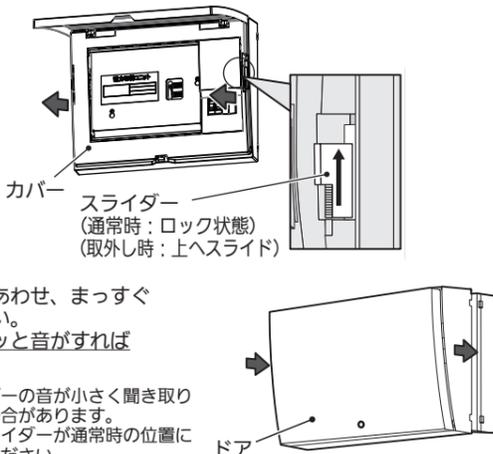
●取外し

- 左右のスライダーを同時に上へスライドさせ、カバーを手前にまっすぐ引いて外します。(右図参照)

●取付け

- ドアを閉じた状態で位置をあわせ、まっすぐ正面から押し込んでください。(左右のスライダーがカチッと音がすれば取付け完了です)

※ 設置環境によってはスライダーの音が小さく聞き取りにくい場合や、音がしない場合があります。その場合はドアを開け、スライダーが通常時の位置に戻っていることを確認してください。



注意 ベースと内器は分離しないでください。故障のおそれがあります。

【露出取付け】 ●裏面配線時はベースの配線孔に合わせて壁に穴を開けてください。

注意 気密性の高い住宅では壁内の気流により、通気孔からほこりが排出する場合がありますので「露出化粧枠」(下記参照)のご使用をお奨めします。

【露出化粧枠(別売)】

- 露出取付け時のベース外形の段差(半埋込しろ)を補正したい場合、別売の『露出化粧枠』をご使用ください。(品番はカタログなどでご確認ください)

Panasonic 出張修理

電力切替ユニット 保証書

本書はお引渡しの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、施工店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

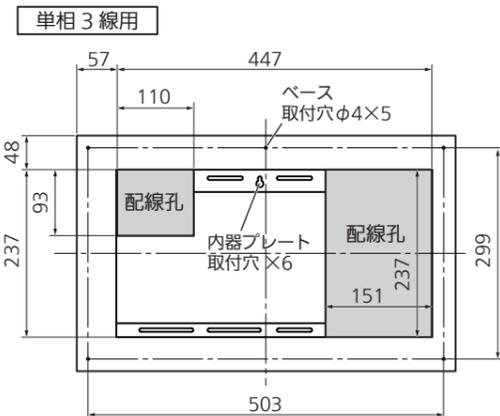
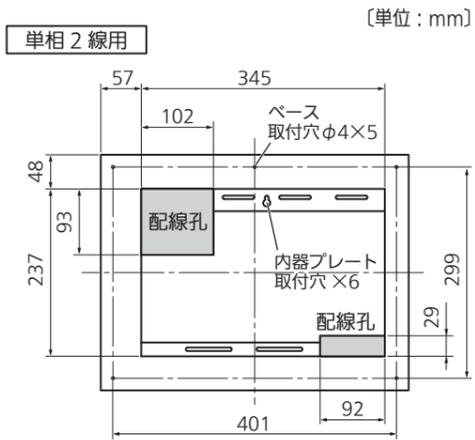
品番	
保証期間	お引渡し日から 本体1年間
お引渡し日	年 月 日
お客様	ご住所 お名前 様 電話 () -
施工店	住所・施工店名 電話 () -

パナソニック株式会社
パナソニック エコソリューションズ 電路株式会社
〒571-8686 大阪府門真市門真1048番地 TEL(代表)06-6908-1131

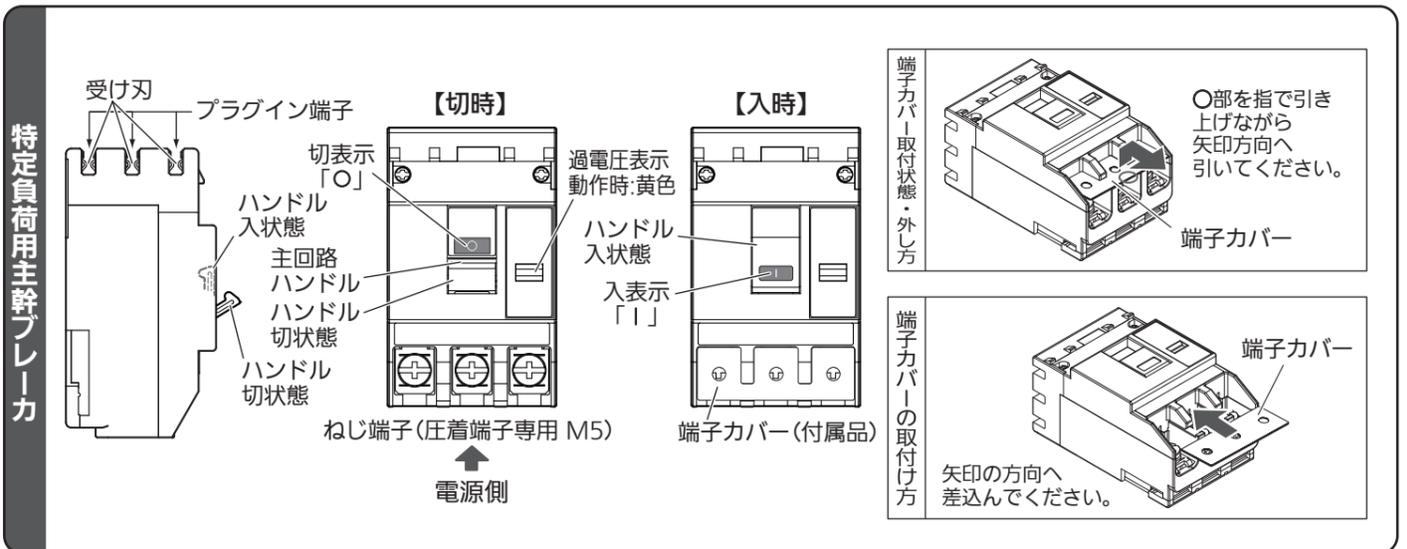
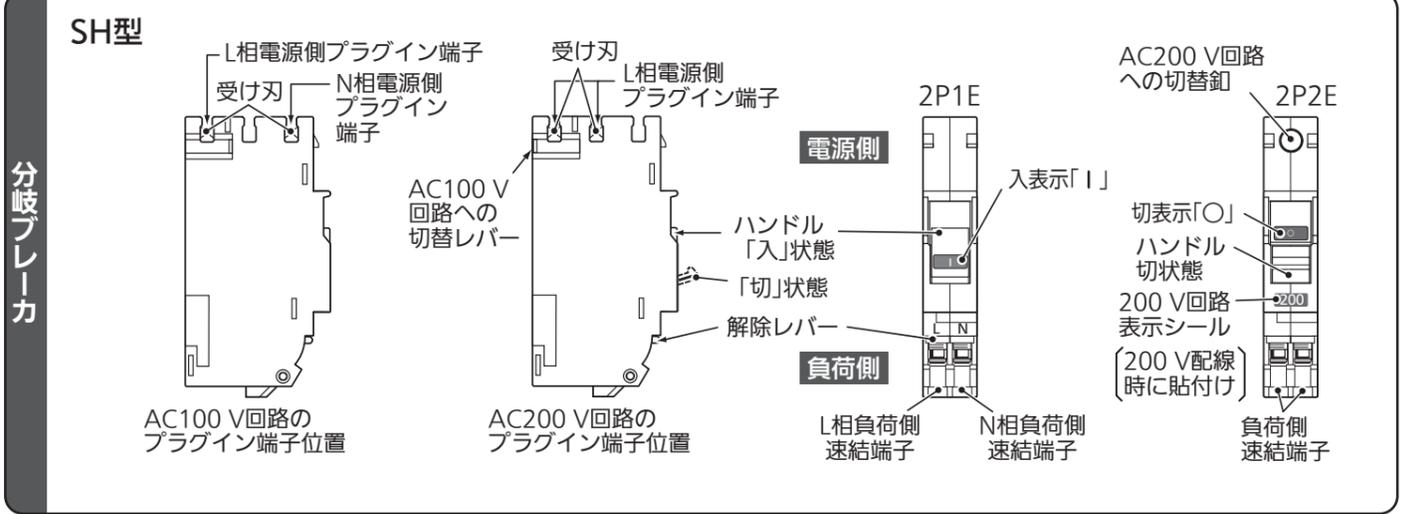
施工店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しください。

配線孔と本体取付穴寸法

- 本体への配線は下図の配線孔寸法をご参照ください。
- 本体を壁に固定する場合、下図の内器プレート取付穴とベース取付穴で確実にねじ止めしてください。



各部のなまえ (ブレーカ)



注意

以下の項目を厳守してください
～守らないと、火災のおそれがあります～

接続上のご注意

【分岐ブレーカ速結端子への電線接続について】

- 電線の被覆をむく。
[本体のストリップゲージに電線を合わせ、15 mmむく]
- 電線を差込む。
[電線挿入口から入れ、オレンジ色の接続完了表示が出るまで差込む]

- 注意**
- 電線の変形・腐食は、発熱・発火の原因になります。電線をむき直してから接続してください。
 - オレンジ色の接続完了表示が出ない場合は、接続が不十分です。発熱・発火の原因になりますので電線のむき長さを確認の上、接続し直してください。
 - 電線はまっすぐな状態で差込んでください。

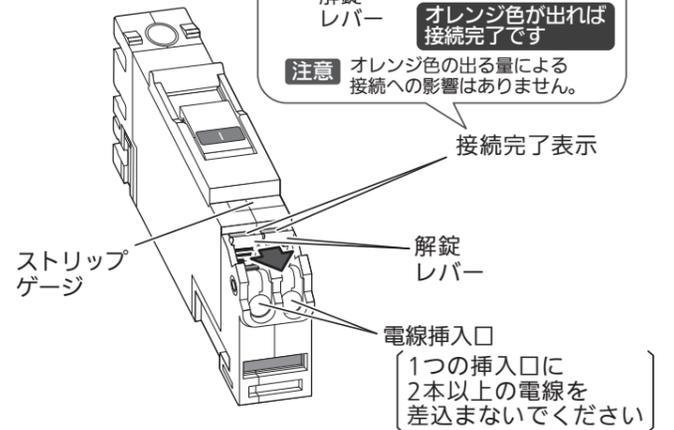
* 電線を抜く場合は、解除レバーを矢印方向 (◀) に押しながら電線を引いてください。

[φ 2.6 および 8.0 mm² 電線は抜きにくい場合がありますので、本体を電力切替ユニットから取外し、電線を抜いてください]

注意 解除レバーの操作力は約7 Nです。押込み荷重が高すぎる (100 N以上) と破損にいたる場合があります。

- 100 V回路の場合、分岐ブレーカ負荷側端子のL相とN相を正しく接続してください。

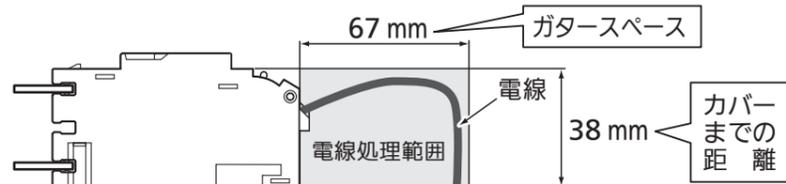
分岐ブレーカ



*Cu(銅)単線専用(より線の場合は棒圧着端子使用)【下表参照】

接続可能電線	適合棒圧着端子品番	注意事項	
Cu(銅)単線	φ1.6	—	定格電流 30 Aは接続不可
	φ2.0		
	φ2.6		
Cu(銅)より線	1.25 mm ²	BB9924	定格電流 20・30 Aは接続不可
	2.0 mm ²		
	3.5 mm ²		
	5.5 mm ²		
8.0 mm ²	BB9923		

注意 接続電線は電線処理範囲内で配線してください。(範囲外に出ますと電力切替ユニットのカバーが取付けできません)



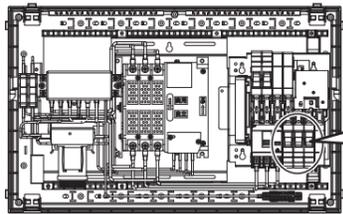
(※) 分岐ブレーカの配線によってアース端子への配線が困難になる場合がありますので配線方法にご注意頂きますようお願いいたします。

< 無料修理規定 >

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
(イ) 無料修理をご依頼になる場合には、施工店にお申しつけください。
(ロ) 施工店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
(ハ) この商品は、出張修理をさせていただきますので、修理に際し本書をご提示ください。
- ご転居の場合の修理ご依頼先などは、施工店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
- ご贈答品などで本保証書に記入の施工店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
(イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ) お引渡し後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷
(ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障および損傷
(ニ) 指定外の使用条件で使用された場合に生じた故障および損傷
(ホ) 他の接続機器および接続部材に起因して生じた故障および損傷
(ヘ) 別に指定する消耗品の部品、その他付属品の故障および損傷
(ト) 本書のご提示がない場合
(チ) 本書にお引渡し年月日、お客様名、施工店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

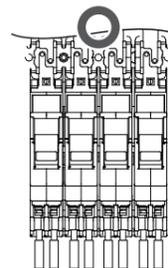
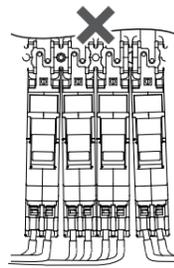
修理メモ

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます。ご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、施工店または、お近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.



注意

接続電線は挿入口に対し、まっすぐ真下（または真上）から挿入してください。斜め方向からの挿入はブレーカの傾きの原因になります。

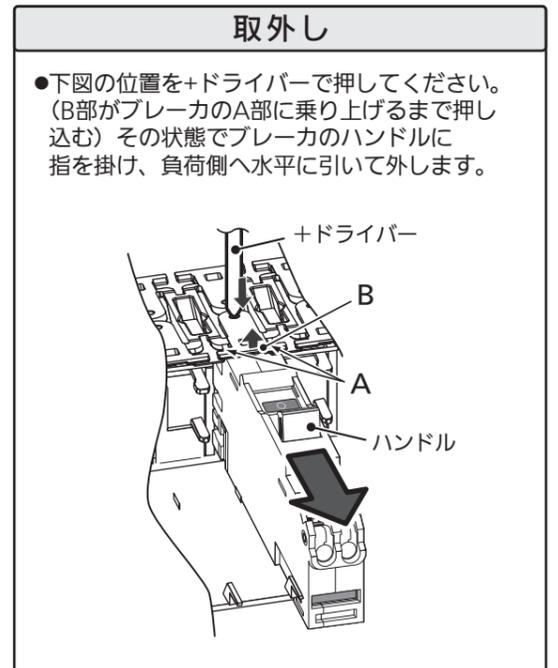
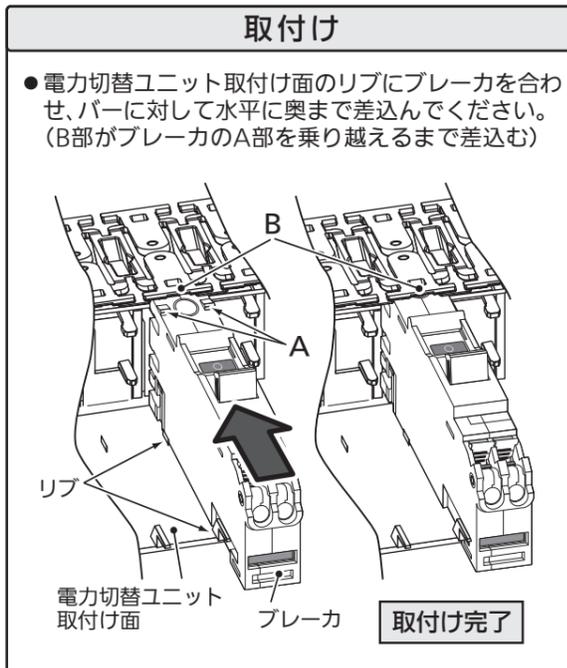
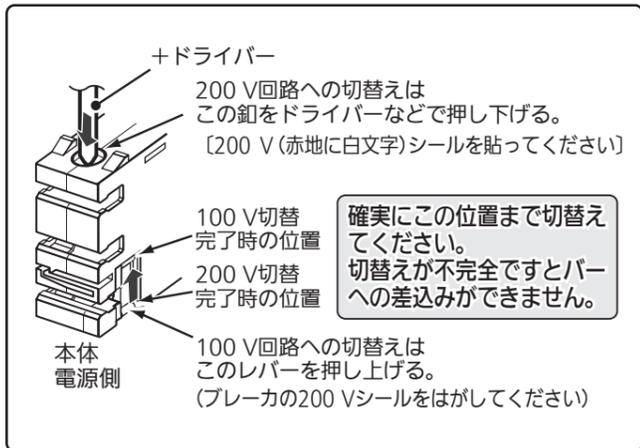


■ 分岐ブレーカの取付け・取外し(LJP63353の場合)

【取付け前に（2P2Eタイプのみ）】

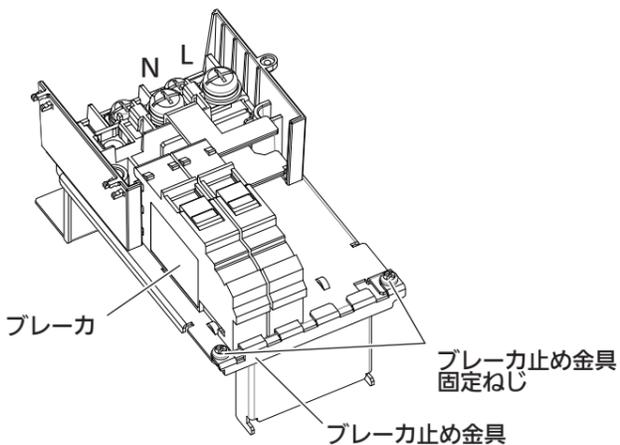
- プラグイン端子の受け刃の位置を確認してください。
 [負荷の使用電圧に合わせ、受け刃の位置を切替えてください。電力切替ユニットに取付けた状態では切替えできません]

《切替え方法》



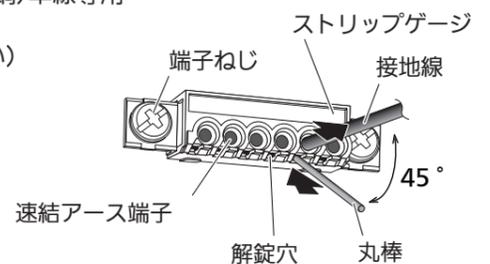
■ 端子台に接続のブレーカの取付け・取外し(LJP62322の場合)

- ブレーカ止め金具(以下、金具)固定ねじをゆるめて金具を取外し、ブレーカを取付け・取外した後、再び金具を取付けてください。

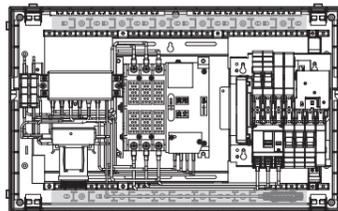


■ 速結アース端子への電線接続と解錠

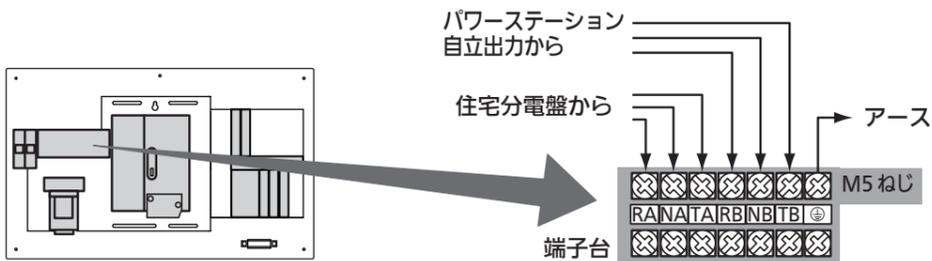
- 速結アース端子への接続は接地線をストリップゲージに合わせ15 mmむき、奥まで確実に差込んでください。
 *接続電線：φ1.6・φ2.0・φ2.6 Cu(銅)単線専用
- 端子ねじへ接続する場合の接続電線は最大5.5 mm²です。(圧着端子を使用してください)
 ● 適正締付トルク 1.6~2.0 N・m
- 接地線を抜く場合は、解錠穴へφ1.6~2.0の丸棒をしっかりと奥まで差込み、接地線を引いてください。(右図参照)



※ 速結アース端子は図の■部であればどの位置でも取付け可能です。

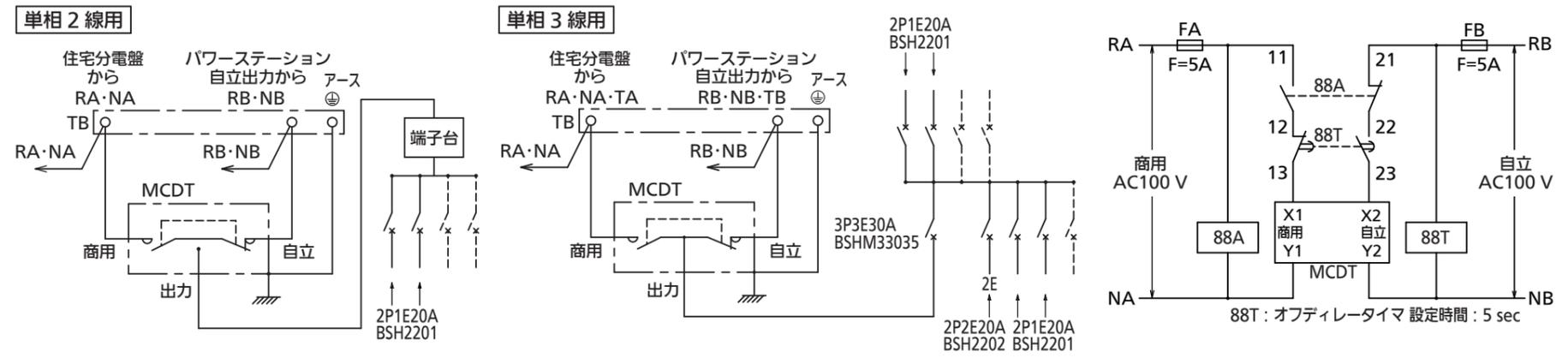


■ 配線方法



注意
 図は単相3線用です。
 単相2線用はTA・TB端子がありません。

■ 結線図



■ 保守点検時のご注意

- ヒューズが溶断した場合は、電力切替ユニットの故障のおそれがあります。ただちに弊社までご相談ください。
- 絶縁抵抗測定は右記の点に注意してください。①すべてのブレーカをOFFにしてください。②測定は充電部一大地間のみとしてください。線間の測定は主幹ブレーカが故障します。

安全上のご注意

ケガや事故防止のため、以下の点は必ず守ってください。

警告

- カバーは絶対に開けない
感電のおそれがあります。
- 異常（発熱・臭い・煙など）がありましたら、ただちに住宅分電盤の電力切替ユニット用分岐ブレーカを「切」にして、連絡先または電気事業者へ連絡する
守らないと火災のおそれがあります。

- 安全にご使用いただくため、定期点検を電気事業者へ依頼されることをお奨めします。
- 有資格者以外の電気工事は法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。

取扱い上のご注意

- ドアは確実に閉じてご使用ください。
- 電力切替ユニットの前面には、障害になるようなものを置かないでください。
- ブレーカを日常のスイッチとして使用しないでください。
- 下記のような環境では使用しないでください。
高温・多湿・じんあい・腐食性ガス・振動・衝撃など

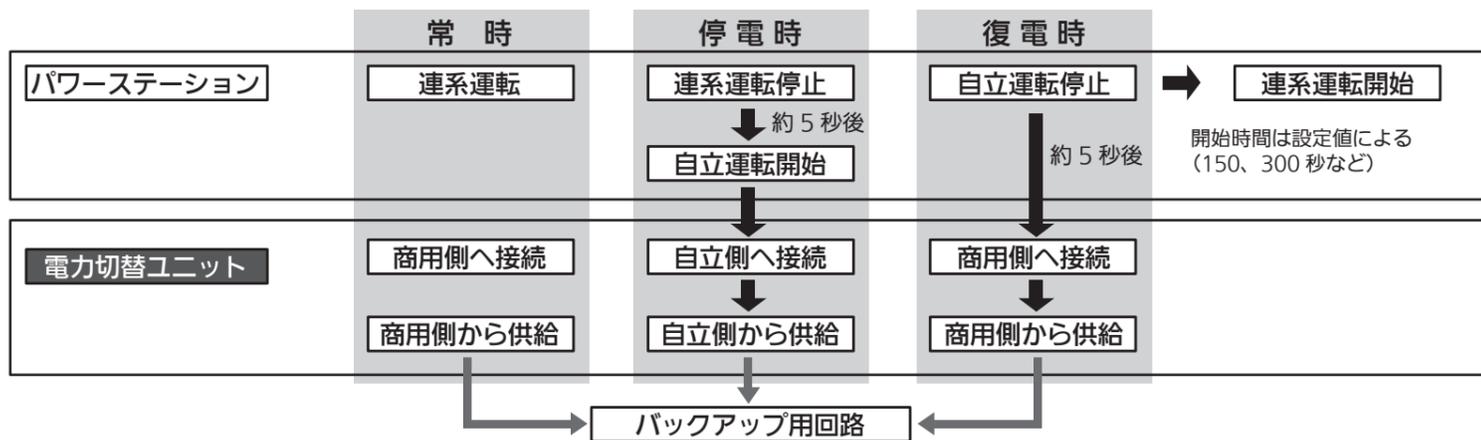
- 電力切替ユニット表面の汚れは、乾いた布または中性洗剤を軽く湿らせた布で拭き取ってください。



(軽く布に湿らせてご使用ください)

注意 分岐回路表示ラベル部は乾いた布をご使用ください。(湿った布の使用は、表面がにじむことがあります)

電力切替ユニットの動作 (一連の動作を自動で行います)

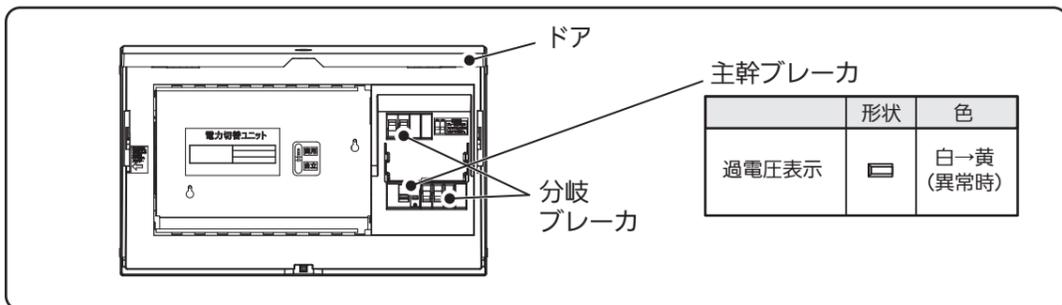


- ※ 電力切替ユニットは電源の切換え時に動作音が発生します。(約 85 dB)
- ※ 電源切替器のハンドルは手動操作ができません。

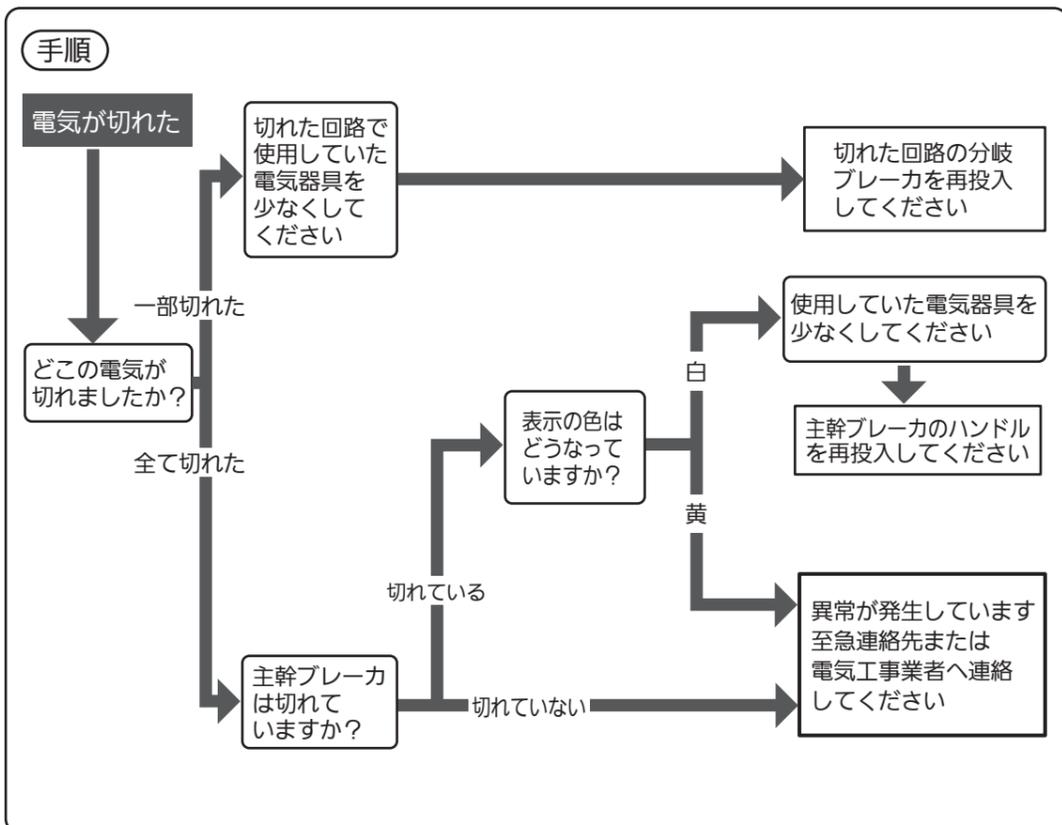
電気が切れたときの処置手順

主幹ブレーカ動作確認手順

各部のなまえ



電気が切れたときの処置 【主幹ブレーカ動作時、ハンドルの繰返し投入は避けてください】



保証とアフターサービス

よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは
 ●まず、施工店へご相談ください。

▼お引渡しの際に記入されると便利です

施工店名
 電話 () -
 お引渡し日 年 月 日

修理を依頼されるときは
 お引渡し日と右の内容をご連絡ください。

●製品名 電力切替ユニット
 ●品番 LJP
 ●故障の状況 できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。
保証期間：お引渡し日から本体1年間
- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご希望により修理させていただきます。

* 修理料金は、次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

* 補修用性能部品の保有期間 7年

当社は、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後7年保有しています。

●相談先がなくお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によって、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 住宅エネルギー管理システムご相談窓口 365日 受付9時~20時
 電話 フリーダイヤル 0120-081-701
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
 ※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

●修理に関するご相談は…

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口
 パナニイコー
 電話 フリーダイヤル 0120-872-150
※携帯電話・PHSからもご利用いただけます。 365日 受付9時~20時
 ■上記番号をご利用いただけない場合は 06-6906-1090

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。